

令和8年度 総会 各議案のポイント

第1号議案 令和7年度 会務並びに各議案のポイント

例年と変化なし。ただし、年度末の会議は掲載していません。

第2号議案 令和7年度 埼玉県中学校長会一般会計報告書(案)

令和7年3月11日、15:00から、ほまれ会館を会場として、4名の監査が集合し、証拠書類、出納簿等を検査した。

監査 (南部) 木暮克敏 (西部) 栗田秀人 (北部) 小泉良寛 (東部) 石山秀樹

監査結果 証拠書類等、会計について適正に処理されていた。

決算での課題

支払いが予算よりかなり高価になった。特に事務費が395,366円オーバーした。

オーバーした主な理由

- ・ 事務所賃貸料、光熱費、共益費、リース代の値上げによる
- ・ 消耗品の値上げ、通信運搬費の値上げ

※必要最低限のものに係る費用がかなり高騰している。

第3号議案 令和8年度 運営方針、活動の重点、研究主題及び9分科会の研究主題、趣旨、研究の視点(案)

全日中では、「特報3」で活動方針等を定めている。全日中では令和6年度「特報3」、「令和の日本型学校教育」等を受け、令和7年度の運営・活動方針が改訂された。このことを受けて、埼玉県中学校長会も令和7年度運営・活動方針を改訂した。

令和7年度全日中「特報3」は、大きな改訂がない。このことから、埼玉県中学校長会においても令和8年度と同様とした。なお、学習指導要領改訂期を迎え、国の動向、情報を注視する必要がある。

令和8年度全日中調査研究協力校（さ中も含め41校の割当）は、事務手続きや調査方法に慣れ、十分な調査ができるよう令和7年度と同じ学校で継続する。

第4号議案 令和8年度 埼玉県中学校長会 一般会計予算(案)

会員の皆様の負担を増やさぬよう（会費を値上げすることなく）、できるだけ活動を充実できるように努力してきた。

令和 6、7 年度で努力してきた工夫

① 総会の WEB

このことにより、校長の在校時間が増えた。

節約できた金額

会場費（埼玉会館ホール、会議室使用費）の縮減 約 100,000 円

資料等印刷製本費 230,000 円

② 本部役員研究協議会、常任理事・理事、部長研究協議会の WEB 実施

ほまれ会館地下ホール借用料 1 回 11,880 円

（年 8 回実施だと $11,880 \times 8 = 95,040$ 円の節約となる。）

③ 顕彰記念品を減額した。また、その配布を会員の皆様の協力により持ち帰ってお届けしていただいた。

顕彰記念品 約 15,000 円 → 約 10,900 円（約 5,000 円減額）

送料 1 人当たり 1,390 円 R6 は顕彰者 48 人。 $1,390 \times 48 = 66,720$ 円

①～③で、約 195,000 円程度の節約をしてきた。

令和 8 年度の予算について

令和 8 年度への繰越額が 833,690 円の減額となり、令和 8 年度の予算編成が非常に困難だった。令和 8 年度さらに節約を進めたい事項は、顕彰記念品の減額、顕彰者への配布方法、配布時期の変更を役員が協力すること、会議の Web 化（会場費の削減）、総会の Web 化（会場費、資料印刷代金縮減）等が考えられるが、物価等の高騰は、一層激しくなることが考えられ、運営が困難な状況である。しかし、令和 8 年度は、会費値上げをせず、一層合理的、節減的運営に努めていく。

しかしながら、物価高騰、経費高騰等、この状態が続くことで、活動に支障をきたすことも十分考えられる。万が一、令和 8 年度中に予算がひっ迫した場合、決して望ましいことではないが、基金を崩す必要が生ずる場合も考えられる。

また、令和 9 年度当初の予算編成にあたって、会員の自己負担金を 2,000 円から値上げすることも視野に入れ、令和 8 年度の活動をしていくことも重要であろう。

以上を御理解いただきたい。

第5号議案 宣言・決議

ほぼ変更なし。